

質 問 順 位	1 2	質 問 者	高 橋 江海子 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 市民生活行政	1. フードロス削減について	1. SDGs の目標 12 に含まれるフードロス削減は、市民生活に身近な課題の一つである。本市のホームページにある食品ロスに関する情報のほか、滝川ふれ愛の里のキッズスペースに子ども向けの掲示があるのは見かけたが、本市におけるフードロス削減の取り組みとして具体的に他にどのようなものがあるか、これから予定している取り組みもあれば伺う。		
		2. さらなるフードロス削減の取り組みとして、農林水産省や消費者庁の交付金や補助金制度等を活用しながら既に支援事業を行っている自治体を参考に、本市でも地域食堂などと連携しフードバンクの支援・推進を検討してはどうか。見解を伺う。		
	2. DV 被害者への支援について	1. 滝川警察署に寄せられた市内における DV 被害の取り扱い件数は3年前のコロナ禍よりも高い水準にあると聞いた。警察が取り扱う事例はとりわけ深刻な DV が多く、実際は氷山の一角に過ぎない考える。DV は家庭内で多く行われるため被害が表面化しにくい上、当事者はDV を自覚すること自体が難しいため、避難や相談に行き着きにくい。本市における現在の支援体制や対応について伺う。		
	3. 特殊詐欺防止について	1. 全国的に特殊詐欺被害が相次いでいる。道内の被害額は今年の8月だけで1億円を超えた。最近市内での報道があった架空請求詐欺と全く同じ被害に先日私も遭いかけたため、老若男女誰にでも起こりうることで、より相談しやすい環境整備などの対策が急務であると危機感を感じた。現在の対策と本市の考え方を伺う。		

質 問 順 位	1 2	質 問 者	高 橋 江海子 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
3. 教育行政	1. 生理用品のトイレ個室配置の 来年度の見通しについて	1. 今年度は一部の中学校での生理用品のトイレ個室配置の試験導入があり、生徒からは好評であったと聞いた。ほかの学校や小学校での導入についての議論はどの程度進んでいるのか、来年度はどのような見通しになっているのかを伺う。		
	2. 提出物のデジタル化について	1. 学校からの保護者向けの印刷物は常日頃から多く、子ども達が管理提出しているためミスも起こりやすい。このことは保護者に継続的なストレスを与えており、教職員にも負担になっていると推測する。先日小学校からのメールで、フォームに入力する形で新しい中学校の制服デザインを選ぶオンラインアンケートがあり、大変画期的で良い方法と感じた。昨今は学校の授業もタブレット化し、ペーパーレスも進んでいるので、まずは入学手続きの書類等からできる限り提出物をデジタル化すべきと考えるが、見解を伺う。		

質 問 順 位	1 2	質 問 者	高 橋 江海子 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
2. 保健福祉行政	1. 保育 ICT システムについて	1. 先日市内の保育所では保育 ICT システムが導入され、活用が進んでいる。保護者目線では、日常の利便性や効率性が格段に上がり、子育て環境が快適になったと大変評価しており、まだ導入前の他の保育所の保護者からは「是非うちの保育所にも」との声も出ている。以下の論点で伺う。 ①導入における課題は何かあったのか、あるとすればどのように解決したか。 ②現場の保育士の所感と業務負担軽減の効果はどの程度あったか。 ③今後ほかの認可保育所で導入予定はあるのか、あるとすればいつか。		
	2. 保育所入所手続き等のデジタル化について	1. 多子であればあるほど、子育て世帯は特に年度替わりに書かなければならない書類が多い。様々な個人情報の子どもの数だけ繰り返し書くため、この作業は毎年保護者の大きな負担になっている。本市では今年から書かない窓口がスタートし、様々な分野でペーパーレス化やデジタル化が行われてきている。職員の負担軽減のためにも保育所や学童などの手続きもデジタル化すべきと考えるが、市の見解を伺う。		
	3. 障がい児の区分判定について	1. 障がい児への早期の支援介入は、子どもの発達や生活の質に大きな影響を与えることが知られており、将来的な課題を軽減できる可能性が高まる。近年、障がい自体が細分化している。結果、支援ニーズのある子どもは増え続けており、本人や保護者の求める支援提供サービスに対応したより正確な区分判定が求められるようになった。保護者から区分変更の要望があった場合の対応を伺うとともに、保護者や日常的に支援を担当している大人とさらに連携を深めながら幅広く聞き取りを行い、総合的に判断するプロセスが必要であると考えているが、見解を伺う。		